



シマンテック

「シマンテック認定技術者資格制度」

今、企業は、総合的な知識と技術をもつセキュリティ人材を求めています。

情報セキュリティのリーダー企業であるシマンテックの「シマンテック認定技術者資格制度」は、総合的な知識と技術を持つより実践的なセキュリティ人材を育成するために、製品分野ごとの試験の合格と世界共通のベンダーニュートラル資格の取得を認定条件として設定している。ここでは、効果的なセキュリティソリューションのデザインとプランニング、展開および管理の実施を認定する「SCTA」資格を取得者の方に、資格取得の経緯と現在の業務での活用などについてお聞きした。

【SCTA 資格】

トレーニングで学んだ知識が大きな自信になっています

グローバルインターネット ジャパン(株)
代表取締役社長 / CEO
高橋 克己氏

はじめに、高橋様の現在のお仕事

についてお話ししていただけますか。

高橋 私が代表を務めているグローバル・インターネット・ジャパン(株)は、Microsoft社製品をはじめ、SolarisやLinuxを使用したWebアプリケーションなどのソフトウェア開発事業と、ネットワークおよびITに関連したコンサルティング事業を主に取り組んでいます。もともとは、ソフトウェアの開発を中心に事業を進めてきましたが、1996年にNTT様へのLANやセキュリティ関係の講習を行ったことをきっかけに、翌1997年から、コンサルティング事業にも注力していくようになりました。現在は、大手企業様向けネットワーク研修での講師派遣や、中小企業様向けのIT導入・運用コ

ンサルティングを行っています。私自身は、学生の頃からシステムエンジニアとして、さまざまなシステムの開発を手がけてきましたが、現在は、各研修の企画とともに、講師としてお客様のサポートを行っています。

今回、シマンテック認定技術者資格を取得された目的についてお話ししていただけますか。

高橋 まず、シマンテック様の「シマンテック パートナー プログラム」の参加要件である『シマンテック認定資格技術者の在籍(加入から1年以内に取得)』があげられます。弊社が業務を進めていく上で、メーカーやベンダー様のサポートを十分に受けられる環境で仕事を行えることは、とても心強いことです。そこで、パートナー企業向けに2004年7月に新設された、セキュリティ技術者認定資格「SCTA(シマンテック認定テクノロジーアーキテクト)」の取得にチャレンジしました。また、本パー

トナー プログラムの参加特典として与えられる『トレーニングの無償提供』もきっかけになりました。セキュリティ製品の多くは、実際に操作してみないと理解できないものですので、この機会を大いに活用させていただき、製品の知識を習得すると同時に、資格の取得にもチャレンジしてみました。

SCTA資格を取得するには、製品分野ごとに設定された試験に合格しなければなりません。高橋様は、何を選択されましたか。

高橋 製品分野ごとに設定された「シマンテックソリューション試験」は、ウイルス対策&クライアントセキュリティ、ファイアウォール&セキュリティアプライアンス、不正侵入防止、セキュリティ・マネージメントの中から、とを選びました。トレーニングでは、各製品の機能から、ネットワークやウイルス対策、ファイアウォールのコンセプト、セキュリティツールの保守・運用など、セキュリティ知識の



グローバルインターネット ジャパン(株)
代表取締役社長 / CEO
高橋 克己氏

TOPICS

シマンテックは、セキュリティベンダーとして初めて、大学や専門学校などの高等教育機関向けに認定トレーニングカリキュラムを提供するプログラム「シマンテックセキュリティアカデミー」を新設した。
(各参加校の開講は2005年4月を予定)

全般を学びました。

* : SCTA資格は、4種類の試験のうち1つに合格することが認定条件になっている。

また、SCTAをはじめとしたシマンテック認定技術者資格を取得するには、ベンダーニュートラル資格を取得していることが必要ですが。

高橋 既に「情報セキュリティアドミニストレーター」の資格を取得していましたので、シマンテックソリューション試験の合格とともにSCTA資格を取得しました。

シマンテック認定技術者資格制度の特長は、このように認定条件にベンダーニュートラル資格の取得を認定条件として設定しているところだと思のですが。

高橋 今、セキュリティ対策を検討している企業が、セキュリティ技術者に対して求めているものは、製品に特化した知識とともに、システム環境や目的に応じて的確なソリューションを提案できる、総合的なセ

キュリティ知識だと思えます。私が取得したSCTA資格は、「セキュリティ分野でコンサルタントが務まるレベルを認定された人に与えられる資格」と伺っています。ベンダーニュートラル資格の取得は、より実践的なセキュリティ技術者の育成を目指すシマンテック認定技術者資格制度のコンセプトを証明するものであり、また資格そのものの価値を高めるものになっていると思います。

取得された資格を現在の業務でどのように活用されていますか。

高橋 各製品の機能や特長をトレーニングの中で詳しく学びましたので、シマンテック様の製品をサポートする際の大きな自信になりました。例えば、先日、クライアントPCのセキュリティ製品の導入を検討されていたお客様に、このSCTA資格を取得したことをお伝えしたところ、非常に好感をもっていただき、我々が提案をしたセキュリティ製品の乗り換えに快く応じていただきました。

シマンテック

シマンテック認定技術者資格制度

「シマンテック認定技術者資格制度」は、実務レベルで有益なセキュリティ人材の育成をコンセプトに、特定の製品に関する知識だけでなく、製品の共通技術やセキュリティ全般の知識を習得できるトレーニングプログラムと試験制度で構成されている。また、真に役立つセキュリティ人材を育成するために、シマンテックの製品分野ごとに設定されたシマンテックソリューション試験の合格とともに、CompTIAの「Security+」や情報処理推進機構の「情報セキュリティアドミニストレータ」などの世界共通のベンダーニュートラル資格を取得していることが、同資格の認定条件になっている。

【資格種類と取得条件】

SCTA(Symantec Certified Technology Architect):ソリューション試験(1)とベンダーニュートラル資格(1)の取得

SCSE(Symantec Certified Security Engineer):ソリューション試験(1)と指定されたベンダーニュートラル資格(1)の取得

SCSP(Symantec Certified Security Practitioner):ソリューション試験(2)と指定されたベンダーニュートラル資格(1)の取得

【お問い合わせ先】

株式会社シマンテック ラーニングセンター
E-mail:train_jpn@symantec.com
URL:http://www.symantec.com/region/jp/education/training/